



## ウクライナ避難民、ベルリンに到着

# 独市民、手差し伸べる

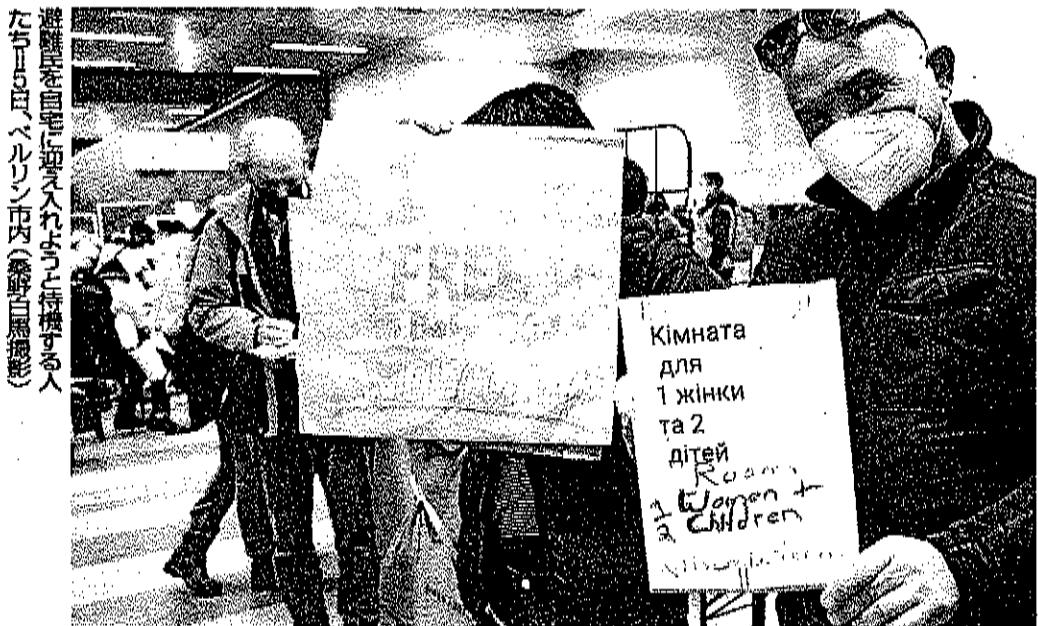
【ベルリン＝篠崎田嶽】 口シアによるウクライナへの軍事侵攻を受け避難してきた人を救おうと、ドイツ各地で大勢の市民が手を差し伸べています。ベルリン中央駅には毎日も、ウクライナ避難民が次々到着。黄色いベストを着た係員やボランティアが対応していました。

駅構内には、情報提供窓口や食事・医療サービスの提供に加え、市民から寄せられた衣服や子ども用おもちゃが集められた場所が設けられています。おとなが支援物資を受け取る間、子どもたちの面倒を見る場所もありました。

3人の子どもと首都キエフから避難したユリナさん（28）は、毛布と帽子、食料を受けてきました。ロシア軍

の爆撃が迫るなか、バスと電車を乗り継いで到着。しかし、友人と連絡が取れなくなりました。「がれきに埋もれてしまったのかも。残った夫のことも心配だけれど、まずは泊まれる場所を探さなくては」と涙をぬぐいました。

欧州連合（EU）は3月に開いた内相理事会で、ウクライナから逃れてきた人に対し、当面2年間、EU圏内で滞在許可を与える保護措置で合意。就労や教育の権利も保障されます。ドイツ鉄道は2月末以降、ウクライナからの避難民の運賃を無料としています。（3面）



## ウクライナ避難民出迎え 1面のつづき

性的少數者支援も

ベルリン中央駅の構内には、ロシアによる侵略を受けたウクライナから避難してきた人々を直営に迎え入れるためにドイツ人家族が集まっています。

「一部屋あります。女性一人十子どもや入ます」と書いた手書きのメッセージを掲げています。係員が「3人

どうですか?」と拡声器で呼びかけると、条件の良い

人が支援を申し出で、一緒に家に向かいました。

ベルリン市内に住むズベンさん(53)は、「子ども連れの女性が到着する」「コースを見て、何とか力になりたいと思った」と語りました。

ボランティアのマリア・ドーハーナー(26)は、「LG

B-T-Q (性別少數者) の窓口「[アラウ]」と書いたフラ

カードを持参。「避難民に偏見がもとで適切な支援が妨げられてはいけない」と強調します。通信アプリ「テレグラム」を通じた呼

びかけに応じた仲間と役割分担を決め、2日間でLG

B-T-Qの支援体制を整えた

北アフリカのモロッコ出身で、北東部ハリコフに留学していったマロアンさん

(21)の通っていた大学は爆撃で破壊されました。「ハ

リコフはめちゃくちゃだ。

仲間とも離れてしまい悲しい。でも、あたたかく行き届いた支援には感謝しています。いつも恩返ししたい

## ロシア抗議 57議会決議

### 都道府県と県都・政令市

#### ■ロシア抗議決議を上げた地方議会

世界でロシアの「チーク」政権によるウクライナ侵略への抗議の声が高まるなか、日本全国の地方議会で抗議決議を可決する動きがあげました。

北海道	青森	岩手	福島	宮城	秋田	山形	千葉	埼玉	茨城	富山	山梨	愛知	静岡	奈良	大阪	滋賀	京都	福井	福岡	佐賀	長崎	熊本	沖縄
都道府県	32議会																						
県都・政令市	25議会																						
札幌	盛岡	仙台	宇都宮	前橋	新潟	金沢	長野	岐阜	甲府	静岡	名古屋	大津	京都	大阪	堺	神戸	福井	岡山	広島	山口	高知	北九州	長崎